

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書

開催日時	令和元年11月11日（月） 18時30分～20時30分
開催場所	荒川市民センター2階会議室A
会場責任者	工藤健、天内慎也
記録者	中村美津緒、奈良祥孝
出席議員	赤木長義、小豆畑緑、天内慎也、蛭名和子、木下靖、工藤健、舘山善也、中村節雄、中村美津緒、奈良祥孝、橋本尚美、花田明仁、藤田誠、丸野達夫、万徳なお子、村川みどり、山本武朝、山本治男、山脇智 議員19名
参加者数	市民11名（全参加者数30名）
報告内容	令和元年第3回定例会の主な出来事について
意見交換内容 （意見の要旨）	<p>防災について知りたいこと、気になっていることは何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 停電時の心配 ・ 荒川地区海拔 13.7m ・ 3年前ほどに災害時無線放送設備を再整備 ・ 野沢地区 入内断層 下湯ダム破壊→水害→水はどこに流れるか？ ・ 小牧野資料館（指定避難所）災害時に誰でも鍵を開けられるのか ※貴重な資料等があるので、市の担当者でなければ開けられない ・ 連合町会で自主防災組織 高田地区は町会としても訓練、荒川地区（11町会）は毎年防災訓練実施（9月第1土曜） ・ 実際の警戒レベルと周りの状況での判断。ピンときているのか？情報をしっかり受けとれるようにすることが大切。自分1人が避難するのは恥ずかしいという気持ちもあるのでは？ ・ 津波が実際に来た場合の対処 ・ 津波よりも川の氾濫 ・ 低いところ（危ないところ）はどこだ！？（ハザードマップ） ・ 「要援護者」を事前に登録しておく必要あり（どれくらいいるのか） ・ 弱者の避難は？（視覚、聴覚、肢体不自由、知的障害、精神障害、老人、幼児、妊産婦、難病） ・ 福祉避難所（老人ホーム、福祉施設）は30数ヶ所のみ！ ・ 川の氾濫 ・ レベル3→避難 ・ 弱者への対応→誰が 名簿＝民生委員（人数が、高齢）？町会役員？家族？ホームヘルパー？ ・ 個人情報保護法がネック！町内会での根握を… ・ 改築できない土地 ・ 降雨量で身近な荒川の水の流れを知りたい！

- ・地域内での地震の際、入内のあたりに断層があるか知りたい
- ・降雨量によって荒川に注いでくる量は
- ・どこに逃げたら安全なのか知りたい！！
- ・1日にどれくらい降ればどうなるのか？
- ・市外化調整区域 いつどこで決まったか。変えてほしい！！あきらめないでダメなのか！理不尽だ！！説明したのか？
- ・洪水ハザードマップ、住民向けのわかりやすいものが欲しい
- ・防災無線があるが今の家は密閉性が高く肝心な時に聞こえない
- ・下湯ダムがあるが、防災に関心がない
- ・入内断層 決壊が心配（緊急放流も）
- ・実際に災害がない！！
- ・災害対応の邪魔をしない
- ・災害時に議員の行動規範がない
- ・下湯ダムの底は浅い
- ・地域は自分達で守る（消防団）
- ・市内全域に防災組織を作るべきだ!!
- ・防災無線が必要でないか（前から要望している）！→市は金がないとのこと
- ・非常時のチャイムがない
- ・沿岸部に防災無線があるが聞こえづらい
- ・ソーラーパネルを避難所に！→発電施設（地の理）
- ・防災無線はいざという時使えるのか？
- ・ハザードマップ、避難場所、水、トイレ、電気
- ・発電機 小学校、市民センターにある
- ・いざ起きてみないと意識が低すぎる
- ・啓蒙活動必要→方法
- ・避難所は市民全員が避難できない。現状7万人。あとの人は？優先順位があるのか
- ・指定避難所は緊急の場合すぐ開くのか
- ・避難所の物資はどんな物が準備されているのか。危機管理課にたずねたが知らない→学校へ聞いてください！
- ・支援物資は避難所のみなのか
- ・土砂災害の対策は大丈夫？
- ・年々被害が大きくなっている。なぜかなあ？
- ・登下校時の発生が心配
- ・いざという時のライフライン、給水等
- ・ダムの放水
- ・川の水門管理

防災について、市に期待することは何ですか？

- ・ハザードマップ地域版（例：荒川地区）がほしい（例：町内の地図に

	<p>避難所、経路等がわかりやすく書かれたもの)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害のときリアカーなどでは充分ではない ・もっと地区に対応した細かいハザードマップを ・いち早く情報（避難など）を出してくれると助かる。（前回の台風のときは早かった） ・実際どれくらい雨が降ったら浸水するのかなど、身近な情報が欲しい。 ・最近の気候への対応、今までにない状況への対応 ・河川の氾濫が心配なので早目の情報を ・避難所の備品の点検を。発電機等がきちんと動くのか？自主防災組織の活用を ・下湯ダムの災害時の事前放流計画について事前に知っておきたいが、連絡先とその方法は？ ・ペット同行避難の訓練がまだない ・FM防災無線がない←あると思う ・女性の視点で避難所の運営して欲しい ・液体ミルクを備蓄して欲しい！ ・フードバンクへ非常食を提供してほしい！！ ・非常食の充実！ ・アレルギー対応のレトルト食品 ・大学（マンパワー、体育館、外国人学生）と連携した防災訓練の充実（防災機器の展示、防災グッズの展示、防災食の試食 etc. …） ・正確な情報の発信 ・啓発活動 ・訓練 ・救命指導 ・予防、整備（港・岸・川） ・物資の提供。ヘリや船。広域も考えて ・子供たちへ防災教育 ・避難訓練の呼びかけ ・入内断層が活動してやぶれた場合どうなるのか知りたい！！どっちに水が流れるのか？ハザードマップをつくってほしい！！ ・防災放送が必要（予算は高田財産区の協力を得た（野沢地区）） ・避難訓練参加者に保存食を提供。参加率 42/186！！ ・回覧板、放送、サイレン、各町会でもやるべき！！ <p>防災のため、あなたができることは何ですか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・この場で市議会議員さんへ防災啓蒙をお願いすること ・回覧板で更なる露出 ・自分の命、家族の命は自分で守る！ ・地域の中での声かけ
--	---

- ・手回しラジオを常備
- ・アプリをゲット
- ・自分用非常持ち出し袋を準備
- ・訓練参加（避難や救命）
- ・行政への要望・発信
- ・避難所運営等を学ぶこと！
- ・非常用食料
- ・反射ストーブ
- ・キャンプで使う道具（ランタン他）
- ・町会の災害時の役員の役割分担
- ・オール電化の家は危ない！！
- ・家族で避難場所などを決めておく！
- ・近所の方に声をかける！！
- ・備蓄もある！米もある！ガス台も。ランプ（ランタン）
- ・家族の命を守ること
- ・食事の提供 おにぎりを作る
- ・家族への防災リュック
- ・3日間の食料確保
- ・日頃からの減災の取り組み
- ・田、畑、川など現場を見にいかない
- ・防犯グッズを準備
- ・自主防犯組織が八戸は100%
- ・一家で人より先に逃げる
- ・家具などが倒れないようにする
- ・風で飛びそうなものを片づける
- ・側溝の掃除
- ・自分の近くの避難所の確認
- ・最低限必要なものを用意。（持ち出せるもの、防犯グッズ）
- ・防災訓練に参加
- ・買い置きできるものは備えておく
- ・自分の家、家族の安全確認
- ・隣近所の安全確認
- ・消防団に要支援者リストを渡している
- ・障害者用の特定避難場所まで誰が連れていくか？
- ・自分の命は自分で守る。それから隣り近所。助けられるのはほんの少し。無理はできない
- ・各自準備できるものを訓練でも持参すべき（水・飲料～）。手ぶらで来るのは？？？
- ・近所づきあい、日頃のコミュニケーションが大事。町会活動にも参加してもらおう（そのための町会のイベントがある）
- ・隣近所も助けたい。日頃のコミュニケーションがなければいざとい

うとき。

- ・各自の備えが大事。水・食糧。水は特に準備しておく

自由意見

- ・市街化調整区域の緩和を考えられないか。生まれ育った場所で暮らしたい
- ・議員と直接話す機会を今後も続けてほしい
- ・各地区での開催回数を多くしてほしい
- ・高齢化社会を支えていくためにどうするか勉強したい
- ・高田地区でタウンミーティングがあったが、そのような機会が増えてほしい
- ・高齢化の地域増。地域（町内）でできることはやる
- ・市街化調整区域で家が建てられない。若い人が増えない。ひとり暮らし。緩和できないか？他地域の事例を勉強したい
- ・県で横内川の泥上げを135mやりました
- ・雪でも若い人、学生の力（青大でも）をかりたい
- ・地域のつながりが重要。アパートの住人は知らない。助けてあげようと思っても知らない人だからと断るとか…
- ・高齢者と学生さんと日頃の交流をしたい。学校で呼びかけて欲しい。ねぶたや盆踊りに若い人は来ない
- ・町会として交流事業を（外国の生徒と食の交流）
- ・荒川地域は融雪溝があってありがたい
- ・バス代が高い。（乗っている人が少なすぎる）バスは必要。循環バスを増やせば地域のつながりにもなるのでは？
- ・歩道の融雪。地下通路などで冬場も体を動かす環境がある。もっと増やしてほしい
- ・雪の利活用の取り組みを
- ・青森市でもっとイベントやお祭りなどを定期的で開催してほしい。
（情報発信が足りない！高校生など若者が参加しやすいイベントがほしい）
- ・荒川地区は家を建てる場合、商売・お店をする場合、さまざまな規制がある。住みづらい
- ・市街化調整区域の問題。家の転売などが規制され、困っている人がいる。
- ・コンパクトシティ。郊外などは自然を残して、除雪は中心部を中心に。費用をあまりかけてほしくない
- ・学校統廃合はどうなっているの？荒川小は？
- ・市民バスは古い、ステップが高い、病院は乗り換えしないと、時刻表がわかりにくい
- ・市民バス、市営バス、段差で乗りづらい
- ・運転手さんの愛想が悪い！！

	<ul style="list-style-type: none"> ・ドライブレコーダー ・医者におにぎり持って行く。タクシーに乗れないし… ・病院に行くのに乗り換えが必要！ ・段差3段登れない ・入内、高田のバスが不便！！便数少ない！！ ・時刻表が見つらい（見方がわからない。字が小さい）どのバスに乗ればいいのかわからない ・市営バス、市民バス、ステップが高く乗りにくい。古い！狭い！寒い！行きはいいが帰りがない！！ ・無駄なく乗れるように！！空のバスもある。地域のニーズの把握を！ ・自分の命は自分で守る（自分用の非常持出し袋を準備） ・教育問題（長い視点で見ると教育が重要だ） ・市民がもっと議会に足を運ぶ。興味を持つこと ・さまざまな観点に（経済的マイナス）立ち、雪の対策を産業振興業に役立てる ・ハンドブックを配布しているが市民の危機意識は薄い！！ ・キャンプ用品の持ち寄り ・災害。本当に青森市、大丈夫なの？！ ・傍聴しよう！！と思ったが、議会はいつ？3、6、9、12月、どうやったら分かるのか？ ・バス停近くの歩道除雪を！！（人力除雪）ゴミステーションやバス停も ・中高一貫校。思考力を育てる教育 ・広報車のサイレン、半鐘が聞こえない ・花、花壇の水やり ・今日の話合いの内容を後で教えて欲しい。町内の人に伝えたい ・狭隘道路の除雪（通学路）が不十分（月に1回）で、お金（月1万円）を出し合って除雪している。市道なのに！！狭隘道路用のロータリーがないのか？ ・市営バス、100円で助かる ・ロータリー除雪機購入は大型なのか？ ・通学路なのに除雪が少ない！ ・融雪溝を細い道路に入れればよい
<p>記録者所見</p>	<p>毎回全て議員の手で進めることに不安がありましたが報告会が進むにつれてその都度不安は解消しました。</p> <p>予想以上に和やかな報告会でした。</p> <p>今回もテーマが防災に絞られたので率直な意見が交わされました。</p> <p>現状の議会報告会とは違い多くの参加者とコミュニケーションが取れ、心を開きながら会話ができたと何より素晴らしいと感じました。</p>

	<p>中にはほかにも話し合いたいことがあると言われた方もいらっしゃいましたが、市政に関心があるからこそ会場へお越し下さり意見を述べられたものと再認識いたしました。</p> <p>次回も是非このような議会報告会を議員が一丸となって開催すべきであり、継続をしていくべきと思いました。</p>
--	---

青森市議会議長 様

令和2年1月17日

以上のおり報告いたします。

なお、当日、参加された市民から出された意見のうち、議会として「特に執行機関に伝えるべき」とした意見については、別紙のとおりです。

会場責任者 工 藤 健

天 内 慎 也

出席議員 赤 木 長 義

小豆畑 緑

蛭 名 和 子

木 下 靖

舘 山 善 也

中 村 節 雄

中 村 美津緒

奈 良 祥 孝

橋 本 尚 美

花 田 明 仁

藤 田 誠

丸 野 達 夫

万 徳 なお子

村 川 みどり

山 本 武 朝

山 本 治 男

山 脇 智

議員とカダる会（議会報告会・意見交換会）報告書 別紙

令和元年第2回議員とカダる会において参加者から出された意見のうち、議会として「特に執行機関に伝えるべき」とした意見については、以下のとおりです。

【荒川市民センター会場】

No.	意見等の要旨	理由・背景等
1	小牧野資料館が指定避難所になっているが、地元の間が鍵を開けられるようにはなっていないので、緊急時に間に合うのか不安である。	資料館には貴重な資料が保管されているからとの市の説明だが、そうなると指定避難所として適当であるのか疑問を抱く。
2	警戒レベル3で後期高齢者等を避難させたいが、現実的にどう対処すればよいのか難しい。	警戒レベル3で避難できれば死者も出さずに済むと思われるが、現実的には避難を拒む人や車いすの人をどう避難させればよいのかわからない。
3	とにかく情報（災害に関わる避難など）を早く発信してほしい。さきの台風19号のときは、他の自治体より早く避難所開設の情報がで出されてよかった。	市の情報発信を評価する一方で、今後さらに取り組みを進める必要があると感じたため。
4	タウンミーティングの回数を増やしてほしい。	市側の職員を少なくして回数を増やしてはどうか。そうすれば参加できる人も増えるのではないか。
5	荒川地区の通学路（狭隘道路）の除雪をしっかりとやってほしい。	月1回程度しか除雪されず、（市道を）近隣で費用を出し合って除雪してもらっているため。
6	バスの時刻表の冊子が見にくく、わかりにくい。また、市民バスは狭く、古く、寒い。	改善が必要と考える。
7	若者が参加しやすいイベントをもっと開催してほしい。毎年やるイベントなどがあればいい。	参加者からイベントの開催が少なく、情報発信も届いていないと感じているとの訴えがあったため。

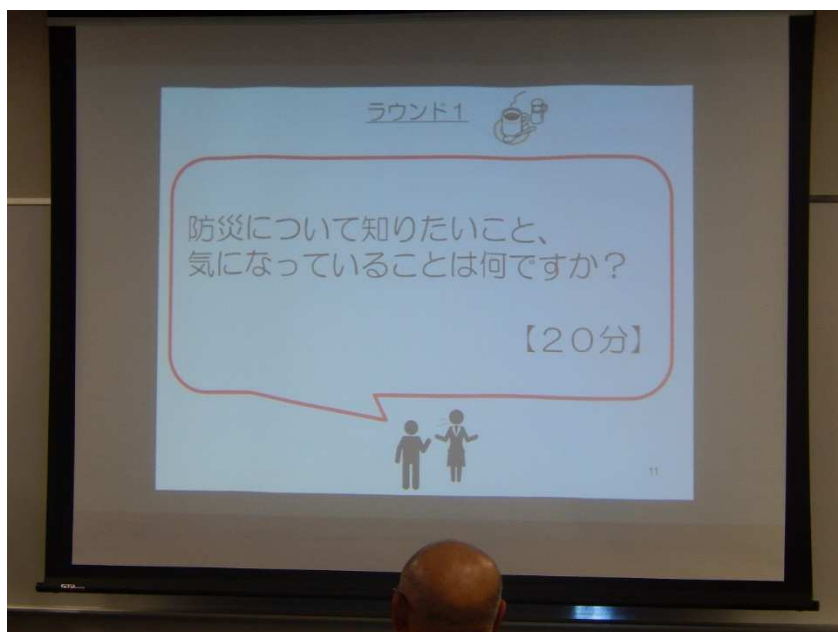
別紙 会場写真（荒川市民センター）



別紙 会場写真（荒川市民センター）



別紙 会場写真（荒川市民センター）



別紙 会場写真（荒川市民センター）



別紙 会場写真（荒川市民センター）



別紙 会場写真（荒川市民センター）



別紙 会場写真（荒川市民センター）

